



PTA新聞

1月号

発行所/福岡県PTA連合会
〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13-50
福岡県吉塚合同庁舎5階
TEL092-643-7766 FAX092-643-7767
発行人/松尾 和昭
編集/広報委員会

県P連ホームページアドレス
<https://fukuokaken-pta.jp>



PTAは学びと交流の場。 地域社会をつなぐ架け橋に

新年あけまして おめでとうございます。



福岡県PTA連合会
会長 松尾 和昭

令和5年度、福岡県PTA連合会の会長を務め、新年のごあいさつをさせていただきます。昨年は、多くの皆さまのご協力とご支援により、地域社会と共に歩む中で、子どもたちの成長を支える大切な時を刻む一年となりました。心より感謝申し上げます。

新しい年が始まり、私たちPTAは、時を刻む学びと交流の中で、より一層の発展を遂げる覚悟です。この組織が有する重要な役割を深く理解し、共に力を合わせ、子どもたちが心豊かに成長する場を築いていくことが使命と考えています。学校や地域との緊密な連携を通じ、教育環境の向上に尽力してまいります。そして、時を刻むように子どもたちの成長を見守り、豊かな未来への道を拓いていくことに全力を注ぎます。この過程で、皆さま方の積極的なご協力とご意見が何よりも大切です。

PTAは、単なる組織ではなく、学びと交流の場であり、地域社会をつなぐ架け橋です。子育てや教育において共に学び合う仲間たちの集まりであり、その中

で時を刻みながら成長していくことが重要です。今年も、お互いに助け合い、共に成長し、地域社会全体が活気づくような組織として、一丸となって邁進していく所存です。新年が始まるにあたり、皆さま方の一層のご理解とご協力をお願いいたします。時を刻む学びと交流を通じ、今年も素晴らしい瞬間を共有できることを楽しみにしております。終わりに、皆さま方のご健康とご多幸をお祈りしております。どうぞよろしくお祈りいたします。

1月号 もくじ

- 1面…新年あいさつ (会長 松尾和昭)
第3回まなびのひろば開催のお知らせ
- 2面…県P×県・県教委
陳情対談会・教育懇談会報告
- 3面…子育て研修会レポート
- 4面…九P大会参加レポート
表彰者の声
- 5面…PTA学校給食教室レポート
- 6面…PTA通信
県教委通信
- 7面…PTA通信
科学館情報
- 8面…食べるってなあに
インフォメーション
県P委員のひとりごと

第3回 まなびのひろば

福岡県PTA連合会

時を刻む 学びと交流 ~子どもたちのために協働的活動を~

満員御礼!

申し込みは
終了しました



お笑いコンビ TIM ゴルゴ松本氏

Profile / 1994年にレッド吉田とお笑いコンビ「TIM」を結成。「命」など漢字を体で表現するギャグで人気を博す。2011年から少年院でボランティア講演の活動をスタート。漢字の話、歴史の話など笑いを交えながら「命」「言葉」「人生」「日本人」をテーマに魂のこもった熱い授業を展開し大きな反響を呼んでいる。2014年12月に法務省東京矯正管区から表彰。2018年11月に法務省より特別支援官に任命。

基調講演
テーマ 命の授業

日時 令和6年2月23日(金・祝) 13:00~

場所 パピヨン24ガスホール (福岡市博多区千代1-17-1)

プログラム	12:00~	受付
	13:00~13:50	オープニングステージ 大野城市立大和小学校 (児童による発表) 小郡市立小郡中学校 (吹奏楽部による演奏)
プログラム	14:00~15:00	“新”家庭教育宣言実践発表 (3校) 糸島市立長糸小学校 築上町立上城井小学校 那珂川市立片縄小学校
	15:15~16:45	基調講演

配信で
視聴
できます

期間: 2/27(火) 10:00~3/4(月) 17:00まで
福岡県PTA連合会ホームページより視聴できます。
<https://fukuokaken-pta.jp>



県P
×
県・県教委

陳情対談会と 教育懇談会

通学路の安全
SNS問題
教職員の配置

PTAの声に 県が回答しました

子どもたちのために
積極的に陳情を

福岡県PTA連合会と福岡県、同県教育委員会との陳情対談会が11月15日に福岡県吉塚合同庁舎にて行われました。対談会には県Pから松尾和昭会長をはじめ副会長、総務委員会メンバーら15名が出席。県教委・知事部局からは山本博康県教育庁教育監ら17名が出席しました。

対談会に続いて、教育懇談会が開催されました。県Pと県がそれぞれ本年度事業の説明をし、その後、スマートフォンやPTAへの加入に関するガイドラインなどについて意見交換が行われました。

毎年行われるこの対談会、松尾会長は「保護者の皆さまに県Pがどのような陳情をしているか知ってほしい。公立小・中学校は市町村立なので、県に対する陳情と合わせて、各市町村の単Pや連合会でも子どもたちのために積極的に陳情をしていただきたい」とコメントしました。

(広報委員長 緒方大輔)

令和5年度の陳情内容(抜粋)

- ① 児童生徒の命と健康を守る安全対策**
 - 通学路周辺の安全対策に関する相談窓口の周知や、情報公開の徹底をはかってほしい。
 - 県で策定されている「通学路安全プログラム」について、分かりやすく情報公開してほしい。
- ② 教育の充実を図る教職員配置**
 - 小学校における定数欠や、中学校における教科欠について早急な解消を。
 - それとともに、いじめなどさまざまな課題解決に向けた適正な教員配置を求める。
 - 昨年から引き続き重点要望として、中学校の「部活動の地域移行」について県としてどのように進めるのか、十分な周知を求める。
- ③ 教育環境の整備**
 - タブレットの利用環境について、地域間、学校間格差が生じないよう調査や対策を求める。
 - すべての市町村において速やかな耐震化の完了を。
- ④ 生徒指導の充実**
 - いじめ、不登校、虐待、危険ドラッグ等薬物乱用、性の多様性などについて、スクールカウンセラーの設置や地域・警察との連携に努めてほしい。
- ⑤ PTA活動の振興**
 - 教育の充実・強化に向け、福岡県PTA連合会の事業および施策への支援を求める。
 - PTA活動に携わる保護者が働く企業への働きかけを求める。
- ⑥ その他**
 - コミュニティ・スクール導入促進事業について、広く周知されるよう工夫してほしい。



陳情内容と県の回答の全文を県Pホームページに掲載しています。ぜひご一読ください。
<https://fukuokaken-pta.jp>



11月15日に行われた陳情対談会と教育懇談会の様子。保護者の立場から県に対してさまざまな要望を届け、意見交換を行いました。

Interview

県への陳情は毎年、県Pの総務委員会が行っています。今回の陳情を終えての感想などを総務委員会に聞きました！

―陳情内容はどのように作成しているのですか？

昨年度の県からの回答と、会員の皆さまから集めたアンケートをもとに作成しました。アンケートではどんな声が多く寄せられましたか？

「校内登下校時の安全確保」「いじめなどへの対策」「部活動の地域移行について」「ICT教育の充実」「教員の配置」などに関する内容が多く寄せられました。

―陳情行動をすることにはどんな意義があるのでしょうか？

毎年、県Pとしての陳情を続けていくことによりPTAの生に近い意見を届けられると考えています。

―陳情を終えての感想、今後の課題などについて教えてください。

今回の陳情対談会を終えて、教員不足や部活動の地域移行等、学校が抱える諸問題解決にさまざまな取り組みがなされていることがよくわかりました。

一方、今後は各地区単位で学校設置者である市町村教育委員会に対する陳情活動をより重視していかなければならないことを痛感しました。陳情内容について丁寧にご回答いただきました県教育委員会関係各課の皆さまに感謝を申し上げます。

(総務委員長 永田健一、総務委員 阿部龍彦)



密着！ 研修会の舞台裏

約半年にわたって子育て研修会の企画・準備を進めてきた母親代表者会の皆さん。当日も舞台裏で大忙し。みんなで力を合わせて頑張りました！

8:45頃 **集合** 開会の約2時間前に集合。



研修会成功に向けて頑張ろう！

9:00 **リハーサル** マイクの調子をチェック。あいさつの練習もしくっちゃー…。



原稿、間違えないように読めるかな～…



場所はここで大丈夫？

9:30 **調整** 立ち位置の確認やパワーポイントの動作チェック。



準備中に記念撮影。はいチーズ！

10:30 **開会** 参加者が続々と来場し、いよいよ開会！



本番、緊張するなあ…

13:00 **閉会・片付け**

無事終了！講師の坂口先生も交えて談笑しながら片付けタイム。



おつかれさまでした！

令和5年度 子育て研修会

「自立」は「孤立」じゃない。 困った時に「助けて」と言える力、 子どもの「**受援力**」を養おう



被虐待や里子として7つの家庭で育った経験をもつ講師の坂口さん。優しい語り口と、子どもの目線に立った鋭い助言に、参加者は真剣に耳を傾けていました。

地域でたくさんの方の出会いをつくる

11月8日、春日市・クローバープラザにて子育て研修会を開催いたしました。子育て研修会の実施は毎年、県P母親代表者会が担当しています。メンバーは各地域から初対面同士の集まりでしたが、会議や連絡を取り

11月8日、春日市・クローバープラザにて子育て研修会を開催いたしました。子育て研修会の実施は毎年、県P母親代表者会が担当しています。メンバーは各地域から初対面同士の集まりでしたが、会議や連絡を取り

合つ中で協働意識が芽生え、当日はたくさんの方のご協力のもと和気あいあいとした雰囲気での研修会になりました。講演会では社会福祉法人甘木山学園理事・坂口明夫さんから、「困らせる子どもは、困っている子どもでも地域で強みを活かす子育てサポート」を題目に、子どもへの寄り添い方、そして

地域の関わり方を講演していただきました。わが子に対する直線的な見守り方も大切ですが、PTA活動や地域の方からのたすき掛けの見守り方が現在の子どもたちの心を育み、自分の居場所が発見でき、子どもたちの心が安定していくこと。また、子どもたちを支援することも大切ですが、子どもたち自身が、自分が必要なのを人に伝え、人に支援を求める「受援力」が大切だとお話しいただきました。その「受援力」が養われるための人間関係の形成にPTAやその活動、そして地域の方々が大切な存在であるということも教えていただきました。

参加者の感想
アンケートより抜粋
● 相手を想う「想談員」という言葉、素敵だなと思いました。
● 「NGワード」をよく使っていることを反省。母として子どもにいろいろな思いを向けてきているつもりだが、自分の価値観の押し付けになっていたのではないかと思えました。
● 「アドボカシー」とは対話を重ねていくこと、そして一緒に考え、悩み、答えを探して行動すること。「寄り添う」とは共感、安心感。私はいつも味方だよー!!
● PTAが関わる地域の力は強くなるんじゃないかと思った。PTAの大切さ、自分の子どもだけでなく少し広げようというメッセージを受け取りました。
● 「自分と未来は変えられる」に共感。困りごと、助けてと子が伝えてくれる環境を大切にしたいと思いました。

Interview

研修会を終えて…

―準備などで苦労したことはありませんか？
講師の先生を選ぶのが1番大変でした。困っている親ごさんたちの悩みに少しでも役に立つ情報は…と頭を巡らせました。

―講師の先生を選んだ理由は？
2人の委員さんから推薦いただいた先生のお話が、今年の母親代表者会の活動テーマである「子どもの笑顔のために」にぴったりということで、満場一致で決まりました。先生の写真も朗らかで素敵でしたので、そこも大きな要因かもしれません！

―研修会を終えてひとこと！
忙しい中、できる人ができる事を取り組んでくれましたので、無事に終わってホッとしています。男性の参加者がいらしたことが、質疑応答にも積極的に参加いただけたことがとてもうれしかったです。日々の子育てに加え、広義な視点からの子育てを考える機会有意義のあるものでした。あと半年、母親代表の皆さんと子育てについて学んだり、話ができる機会を増やしていきたいです！

(母親副代表 杉山美智子、担当副会長 星野美由紀)



子どもの未来を地域みんなで支えよう

九P佐賀大会 開催

学び、交流、弾き語りライブ…
笑い感動の2日間

10月28・29日、日本PTA九州ブロック研究大会佐賀大会（九P佐賀大会）が開催されました。「SAGAそう子どもの未来見直そうPTAの力」を大会スローガンに、28日（土）は6分科会、29日（日）は全体会が行われました。

第4分科会では教育環境（格差をなくす連携）について提言されました。「教育委員会と語る会」で保護者が直接、具体的な要望を伝える機会を作り、保護者・教師・行政みんなで学校を作りあげている行橋市立泉小学校さん、子どもたちの声を

PTAや地域で聞いて連携し、環境作りをされている北九州PTA協議会さんと、多様化する教育環境とどうPTAが関わっているのか、とても刺激的な内容でした。

そして全体会では、前にやっていた事を当たり前にするのではなく、時代に合わせ、量を重ねる事で質を高めている株式会社タニタさんの話を聞きました。その後のはなわさんの弾き語りライブはとても心に染み、泣き笑いの絶えない一時でした。

（副会長 香月まゆみ）



アトラクションや記念講演もあり、熱気にあふれた全体会。分科会では活発な討議が行われました。

表彰団体 喜びの声

令和4年度のPTA活動で表彰された6団体の表彰式がありました。皆さんの笑顔と「喜びの声」をお届けします。

● 宗像市立赤間西小学校父母教師会

この度は団体表彰ありがとうございます。赤間西小PTAはボランティア制のため、昨年度の福岡ブロック研修会開催ではボランティアが集まるか不安でしたが、たくさんの皆さまの協力で実施でき自信につながりました。さらに今年からはさまざまな活動ができるようになりますので、学校や地域と共に、「できる時にできる人ができることを」をモットーに今後も安全で楽しい子どもたちの居場所作りを計画していきます。

（赤間西小父母教師会副会長 西中村明希）



● 朝倉市立比良松中学校PTA

このたび、日本PTA九州ブロック研究大会佐賀大会において、表彰いただいたことは、昨年度の本校PTAのみならず、皆さんのPTA活動への情熱と努力の証であると感じると同時に、その賞を私が受けることに大変な重みを感じています。

子どもたちの未来に向けてPTAが団結してよりよばらしい活動にできるよう努力をしていく覚悟です。

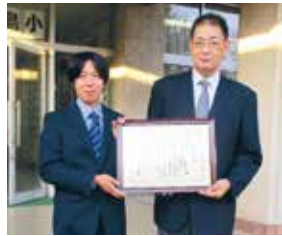
（比良松中PTA会長 古賀聖司）



● 筑後市立古島小学校父母教師会

この度、九州PTA大会にてこのような名誉ある表彰をいただきありがとうございます。我が校のPTAは「～ふるさと古島の為に子ども達の為に～」をスローガンに団結し、どのような困難にも密な報告・連絡・相談がなされており協力し合う体制を楽しみながら事業に取り組んでいる団体だと自負しております。令和6年度をもって古島小学校は閉校となりますが、この古島の連携を新設校にも引き継げるよう努力を惜しまず邁進してまいります。

（古島小父母教師会会長 田中憲一）



● 宮若市立宮若西中学校PTA

歴代の会長・役員をはじめ、会員の方々、先生方や地域の方々のおかげさまで、この度このような表彰をいただきましたこと心より感謝申し上げます。私たちは「スマイル西中～みんなで協力して子どもの笑顔～」をテーマに、日々活動しています。

これからも学校・地域・保護者と力を合わせ、子どもたちの未来のため邁進していきたいと思えます。

（宮若西中PTA会長 井上智央）



● 飯塚市立飯塚鎮西小学校PTA

九州ブロックPTA協議会団体表彰、心よりお礼申し上げます。今回の表彰は、現PTA会員の活動はもちろんですが、これまでのPTA活動にご尽力いただいた諸先輩方、今日まで飯塚鎮西校に勤務されてきた先生方、日々温かく見守りいただいている地域の方々のご理解ご協力がなければなかったと思っています。今後もPTA活動を楽しむことをモットーに、学校・家庭・地域が連携した活動を実践していきたいと思えます。

（飯塚鎮西小PTA会長 島川佳代）



● みやこ町立黒田小学校PTA

九州ブロックPTA協議会団体表彰の受賞は、現PTA会員の活動だけではなく、これまでの本校PTA活動にご尽力いただいた諸先輩方や先生方、地域ぐるみで子どもたちを見守り育てていただいた地域の方々のおかげです。

今回の受賞を励みとして、これからも学校・家庭・地域で連携・協力しながら、活動を続けていきます。

（黒田小PTA会長 有馬孝泰）



こころとからだを 育む

給食は「生きた教材」

令和5年度 PTA学校給食教室

栄養は？安全性は？安定供給は大丈夫？ 専門家がギモンに回答

子どもたちの健やかな成長に欠かせない「食生活」への理解を深めるためのPTA学校給食教室（主催／福岡県教育委員会、福岡県PTA連合会、福岡県学校給食会）が、10月3日・福岡地区、11月14日・南筑後地区、11月21日・北九州地区で開催されました。学校給食の役割や、給食がどのように作られているかなどを学ぶとともに、実際の給食の献立を作る調理実習も行いました。郷土の食材や、思いがけない食材の組み合わせに出会えるのも給食の良さ。県教育庁教育事務所の指導主事は、「給食は生きた教材。家庭でもお子さんと給食のメニューについて話したり、一緒に料理を試してみたりと、いろんな食の経験をしてほしい」と話しました。

質疑応答では参加者から「食材価格が高騰しているが、給食の安定供給は大丈夫か」と不安の声が上がり、県教育庁体育スポーツ健康課の指導主事が「各自治体において安定的に給食が提供できるように取り組んでいます」と回答しました。

（福岡地区）

参加者の感想

※アンケートより抜粋

- 調理実習、とてもおいしく楽しかったです。
- 塩味の代わりに風味づけをして満足度が上がる方法を知れてうれしかった。
- 豆乳でみそ汁や、具材に切干大根を使うのは家でも試そうと思うほどでした。
- 普段、我が子が食べている給食を作っているところを見ることができて良かった。
- 給食を通じて食文化、地産地消、流通、生命、社交性、そして何より適切な栄養の摂取、健康増進などを教えていただいていることが分かりました。

給食の献立の調理実習を行いました

福岡地区 10月3日



南筑後地区 11月14日



北九州地区 11月21日



麦ごはん、さばの香味焼き、ゆず酢あえ、豆乳みそ汁、牛乳



雑穀ごはん、鶏肉のごまみそがらめ、小松菜と切干大根のほりはり漬け、南関揚げの根菜汁、牛乳



雑穀ごはん、米粉の豆乳みそスープ、鮭のレモン醤油焼き、ひじきとブロッコリーのサラダ、牛乳

レシピは公益財団法人福岡県学校給食会のHPで公開中!

<https://www.fukukyuu.or.jp/>





輝け 桂川の子どもたち

【筑豊】桂川町立桂川東小学校

桂川町では、毎年9月から10月にかけて「輝け 桂川の子どもたち」をテーマに、教育シンポジウムを開催しています。

令和5年度は、中日ドラゴンズ前監督で、WBCで侍ジャパンのピッチングコーチなどを務めた、与田 剛氏を講師に迎えました（実は、与田氏は祖父宅が桂川町にあり、幼少期によく遊びに来ていたことがあるなど、我が町にゆかりのある方です）。

講演では「私の野球人生 一自分を信じ、逆境を乗り越える」と題し、自身がプロ野球選手として活躍するまでに取り組んできたこと、大切にしてきたことなどをお話いただきました。たくさんのエピソードを紹介いただく中で、私が特に印象に残ったのは、「夢を叶えたいのであれば、叶うまで取り組みましょう」という言葉でした。

今回の講演で学んだことを生かし、町内各校PTAが力を合わせ今後の取り組みを進めていきたいと考えます。そして、桂川町の全ての子どもたちが、自分の夢を叶えるために、さまざまなことに取り組むことができるように応援していきます。

(桂川東小PTA会長 田中 涉)



運動会のために環境整備を行いました



地域連携で運動会大成功

【北九州】中間市立底井野小学校

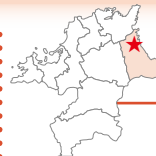
底井野小学校では、今年、コロナ禍以降初の全学年合同の運動会を開催することになりました。今回は、PTA競技の復活までには至りませんでした。来校人数に制限のない運動会は4年ぶりの開催です。

事前準備として9月23日(祝)に保護者、児童、教職員はもちろん、まちづくり協議会や地域の方々など、100名近くの方に参加していただき、学校全体の除草作業や枝打ちを行いました。運動場や校舎周辺はきれいに整備され、運動会を行うのに最適な環境になりました。

おかげさまで子どもたちは、気持ちよく運動会の練習に励むことができました。本番ではPTAメンバーも全力でサポートし、子どもたちは大いに力を発揮し活躍する姿を見せてくれました。また、運動会を観覧に来られた保護者にも気持ちよく観覧していただき、地域の方の中には閉会式の校歌と一緒に口ずさみ、懐かしんでいる方もいらっしゃいました。

今後は、PTA競技や地域の方々にご参加いただける競技も復活させ、来年は第150回運動会という節目の運動会でもあるので、ますます充実させていきたいです。

(底井野小PTA会長 山口議雄)



泉っ子まつりについて

【京築】行橋市立泉小学校

福岡県の東側に位置する行橋市は、福岡地方や筑後地方の方にはなじみのない町かもしれませんが、海も山もある自然豊かな町です。果物や牡蠣などが有名です。

行橋市立泉小学校は、全校児童900人に近い、京築地方一のマンモス校です。

本校PTAの特色ある活動の一つを紹介いたします。それは「泉っ子まつり」です。

「泉っ子まつり」は、PTAの役員と学務委員が中心となり、さまざまな店(ゲーム、飲食物など)を出します。体育館は縁日と勘違いしてしまうほど、にぎやかな祭りの会場となります。

今年度は新型コロナウイルスの影響で、4年ぶりの開催となり、初めて経験する役員も多く、とまどいながらの開催となりました。

学務委員の皆さんは準備が大変だったと思いますが、子どもたちが楽しんでいる姿を見ると、苦労も吹き飛んだようで、開催できたことを喜んでいました。

これからも、楽しく明るく、子どもたちのためになるPTA活動を行っていききたいと思います。

(泉小PTA会長 藤原健太郎)



大盛況の泉っ子まつりの様子

県教委通信

体験活動を やってみませんか?

自然物 クラフト

仲間づくり

レクリエーション



クラフト活動の様子

★詳しくは各施設まで。

- 社会教育総合センター ☎092-947-3511
- 英彦山青年の家 ☎0947-85-0101
- 少年自然の家「玄海の家」 ☎0940-62-2511
- 国立夜須高原青少年自然の家 ☎0946-42-5811

新型コロナウイルス感染症拡大により、多くの子どもたちが体験活動の機会を失うこととなりました。体験活動は子どもの心身の健全育成だけでなく、学力の向上等にも大きな影響があるともいわれております。そこで、県教育委員会では、体験活動の機会が減った児童・生徒に、「何とか体験活動の機会を提供できないか」という思いから、県内3つの県立青少年教育施設と1つの国立青少年教育

施設が連携して、「ふくおか体験活動出前隊」を実施しています。これは、専門のスキルを持った施設の職員が直接学校などに出向き、子どもたちに、レクリエーション活動を通しての仲間づくりや野外炊飯、自然物を使ったクラフト活動等の体験活動の支援を行うものです。詳しくは、各施設に電話にてお問い合わせいただけますようお願いいたします。



できることをできるかたちで

【北筑後】筑前町立東小田小学校

今年の夏休みも、東小田小学校のプールには、子どもたちの歓声が響きました。

近年、夏休みのプール開放は、熱中症のリスクから実施を見送る学校が増え、新型コロナウイルス感染症の影響で、その傾向は顕著になりました。しかし、子どもたちが楽しみにしている夏休みのプール開放。令和3年度からは、PTA本部役員が中心となり、できるかたちを模索しながら再開しています。今年度は、本部役員とおやじの会が連携し、実施回数、時間、方法等について何度も検討を重ね、安全に開放ができる監視体制を整えていきました。ただ、参加条件「保護者引率のもと」あるいは「保護者間で引率を託された引率者がいること」等があるので、全ての児童が自由に参加できるわけではないという課題は残ります。それでも、子どもたちが笑顔でプールに入り、はしゃいでいる姿を見ると、やってよかったと思わずにはいられません。

今後も、「東小田チャレンジ」「どんと焼き」といった、PTA・学校運営協議会・おやじの会等が連携した取り組みが続きます。子どもたちの笑顔のために、無理のないかたちで、できることをやっていきます。

(東小田小PTA会長 高橋公貴)



子どもたちの歓声が響いたプール開放



生徒たちの手で教室の壁がきれいに！



壁塗りボランティア

【南筑後】みやま市立高田中学校

自分たちで学校を良くしていきたい。そんな生徒たちのつばやきから始まった高田中学校壁塗りボランティア。生徒総会で出された学校施設への要望の中から落書きが目立つ教室の壁をきれいに塗り替えたいという思いを形にすることにしました。

10月14日土曜日。PTAからの呼びかけに集まった保護者と生徒たちで養生テープを貼るところからはじめました。

はじめはこわごわとしていた生徒たちも、保護者から丁寧に教えてもらおうと瞬間に職人級の腕前に。みんなでわいわい言いながら作業を進めることは、大切な思い出の1ページになったことと思います。きれいに塗り替えられた壁を見てとても満足そうな表情でした。作業後のお茶とおにぎりの味も格別だったようです。生徒が考えたことを形にするお手伝いをPTAでできたことが今年度の活動の大きな成果だと思えます。

これからも、子どもたちに寄り添ったPTA活動を続けていきたいと考えています。学校の重点目標は「自分の考えをつくる力を育成する」です。PTAでも子どもの主体性を育成することを目的として活動を推進していきます。

(高田中PTA会長 小宮喬史)



横の繋がりを密に

【福岡】糸島市中学校PTA連合会

糸島市中学校PTA連合会は、6中学校および1分校で組織されています。コロナ禍での活動自粛することもなくなり、本年度より本格的に活動できるようになりました。

本役員会では、会議の開催を糸島市の各中学校のPTA会長だけでなく副会長まで声をかけ参加を促し、それぞれの中学校のPTA活動について情報交換会を行いました。PTA会長、副会長の思い、行事についての考えをお互いに伝えあう場を持ち、横の繋がりを作り情報共有に努めています。

コロナ前は、さまざまな行事が何の違和感もなく当たり前に行われており、時にはそれがPTAの負担になっていたこともあったかもしれません。コロナ禍を経て、再度必要な行事なのか今の時代に合っているのか精査していく必要があります。この情報交換会では、純粋に子どもたちのためにより良いPTA活動にしたいという共通認識を再確認することができ、先日は近隣の高校視察会を行いました。

今後は各中学校行事等の報告会を予定しています。これからの糸島市中P連を盛り上げていく土台作りになればと期待しています。

(糸島市中P連会長

二丈中PTA会長 吉本勝隆)



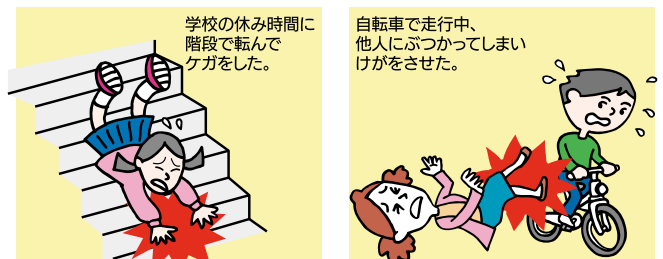
高校視察会の様子

福岡県PTA連合会

小・中学生総合保障制度のご案内

(子ども総合保障)

学校内外でのケガや、偶然な事故による法律上の損害賠償責任などさまざまなリスクを補償します。



さらに、お子さまが病気になった時の補償や、お子さまの持ち物の補償、扶養者の方に万が一があった時の補償など、多くの補償でお子さまをお守りします。*



この制度の詳細内容は、こちらからもご確認いただけます。
『小・中学生総合保障制度』 <https://www.pta-corin.com/>

*補償内容、保険金額はプランにより異なります。
この広告に記載の内容は、2023年7月現在の内容です。
ご加入の際には、パンフレットおよび重要事項説明書をお読みの上でお申し込みください。

お問い合わせ

福岡県PTA連合会 小・中学生総合保障制度事務局

TEL:0120-228-553

受付時間：平日/午前9時～午後5時 〒810-0022 福岡市中央区薬院4-3-5 セレス薬院5F 株式会社コーリン内
制度引受保険会社：AIG損害保険(株)、東京海上日動火災保険(株)、損害保険ジャパン(株)、三井住友海上火災保険(株)、Chubb損害保険(株)

S-230556 (2024-06)

科学館情報

福岡県青少年科学館 久留米市東櫛原町1713
☎ 0942-37-5566 (代) FAX 0942-37-3770

☆新春イベント

1月6日(土)、7日(日)、8日(月・祝)、13日(土)、14日(日)

③2024 みんなでつくる
プラネタリウム
スタンプラリー

①ぬり絵恐竜たちが動き出す?!



ぬり絵をした恐竜たちをタブレットで読み込むと...
恐竜たちがまるで現実世界に飛び出してきたかのように動き出します!

②カラフルアンモナイト発掘体験



砂の中に埋もれたカラフルなアンモナイトを発掘しよう!



蛍光シールを壁に貼り、光る星の空間(プラネタリウム)と一緒に完成させよう!
スタンプラリーに挑戦して素敵な景品をゲットしよう!

会場：①、②特別展示室 ③特別展示室、宇宙コーナー、コスモシアター
参加費：無料(ただし、入館料は必要)



☆コスモシアター番組情報

「プラネタリウムでチョコちゃんに叱られる!チョコとキョエの宇宙大冒険! 無知との遭遇」

<あらすじ>

NHKの人気番組がプラネタリウムに登場です。永遠の5歳児・チョコちゃんが全天周のドームスクリーンいっぱいで大活躍!「ポーっと生きてんじゃねーよ!」とおなじみの決めセリフも大迫力で飛び出します。宇宙に関する素朴な疑問を、目からウロコの解説で解き明かしていきます。チョコちゃんプラネタリウムスペシャル、どうぞご期待ください!

「チョコちゃんに叱られる!」©NHK



山際千津枝の

— マングースの独り言 —

Vol.119

食べるってなあに

やまざわ・ちづえ

食をコミュニケーションツールと考えている料理研究家。その他エッセイスト・テレビラジオのコメンテーター。現在は博多阪急デパートにおいて地下食品販売部アドバイザーを務める。

得意な料理ひとつだけでも…



我が家は来客というか、いつも他人がご飯を食べている家です。たまに、あの方誰だったかしら…とか、帰られてから、夫にあなたの知り合い?いいえ、お前の知り合いでは?なんて怪談のような話も。ちょっと書類を届けに来ただけなのに、つい「お腹空いていませんか」と声をかけてしまいます。

困った癖だとは思いますが、こういう性格が高じて料理家になれたのかもしれない。周りにお腹が空いている人がいるのが嫌。大げさに言えば世界中の人がしっかり食事をとれる世の中であってほしいと切に思っているだけなのです。だから料理研究家といえども珍しい料理や高価な料理は作りません、作れません。どこにでもある材料で簡単に作れて経済的、それが基本です。美味しくって体にも良いは標準装備ですね…つまり当たり前。

今回はこの原稿を手にする皆さんを招いてご馳走したいと思う一品をご紹介します(実現したいですが難しいかなー)。

「鶏だんごのキノコ鍋」。この料理は今の寒い季節によく作ります。鶏のミンチを使うので経済的でもあります。

まず大き目のお鍋に(土鍋なら理想的)6カップの水を入れます。少し沸いたら鰹節を一つかみ入れて少しクツクツ沸騰させたら、網で鰹節をすくい取り絞ってから捨てます。顆粒のだしの素を使っても、もちろんOK。鶏のだしが出るのでそれほど上等のだしでなくていいのです。そこ

へ塩小さじ1・みりん大さじ2・うす口しょう油大さじ2で味付けしておきます。

鶏ミンチは400gをボウルに入れ、白ネギのみじん切り一本分、卵1個、塩小さじ1/2、酒と片栗粉大さじ1ずつを入れ、手で良く混ぜます。柔らかすぎたかなーと思うくらいがちょうど良いのです。

キノコは好きなものを2パックくらい用意してください。椎茸、しめじ、エリンギなんでもいいです。エノキは値段が手軽なのでよく使います。キノコの石付き(軸の下の硬い部分のこと)だけ取り除きます。一口ぐらいに切るか裂いたりしておいてください。

これで準備は整いました。鶏のミンチをゴルフボールくらいに丸めて。手を濡らして丸めるとやりやすいです。沸騰させただしの中に落としていきます。最初はおだしが少し濁りますが、しばらくして鶏に火が通る頃には澄んできます。卵白の働きだと思のですが不思議です。料理はやはり楽しいです。続いてキノコを入れてきちんと火を通して出来上がり。ちなみに生で食べられるキノコはマッシュルームだけです。

お椀に取り分けて、あれば、カボスの輪切りを一枚入れて風味をつけてください。春菊やネギ、クレソンなどがあれば最後に入れます。お汁ごと召し上がれ。ご飯でも、後で残りのおだしにうどんを入れるのもオススメです。書いているうちに今夜これを作りたくなりました。そしてまた、どなたかお腹が空いている人を誘うかもしれません。

インフォメーション

第32回 県P広報紙コンクール 作品募集

皆さんの自慢の広報紙をお寄せください!
たくさんのご応募お待ちしております♪

第32回広報紙コンクールが開催されます。本年度も皆さんの創意工夫あふれる広報紙の応募をお待ちしています。締め切りは3月29日です。

入賞作品は日P広報紙コンクールに推薦されます。ぜひチャレンジしてみてください。

《対象》県内(政令指定都市を除く)の小・中・義務教育・特別支援学校PTAで発行している広報紙で、年1回以上発行されたもの(委員会だよりなどは該当しません)。

〔WEB版〕も募集しています。

《表彰》県教育委員会賞・西日本新聞社賞・県PTA連合会会長賞・優秀賞

《応募方法》令和5年4月から令和6年3月までに発行した全ての号各3部に応募票(県Pホームページよりダウンロードできます)を添え、県P事務局あてに送付してください。



昨年度の審査風景

※募集要項等は、令和6年1月に各単Pへ発送します。

第17回 いじめ防止標語コンテスト 作品募集

締切間近!
1月12日(金)まで

県Pでは、福岡県教育委員会の後援で6月と10月に「いじめ撲滅月間」を設定し、いじめ防止と早期発見に努めています。活動の一環として本年度も「いじめ防止標語コンテスト」を実施します。たくさんのご応募をお待ちしています。

《応募内容》いじめの防止・根絶を呼びかける標語

◎文字数の規定はありません。

◎応募は児童・生徒1名につき1作品。

◎応募作品は未発表の日本語原稿とする。

◎応募作品は返却しません。

《応募締切》令和6年1月12日(金)

《応募対象》小・中学校・義務教育学校(特別支援学校を含む)に在籍する児童・生徒

《表彰》文部科学大臣賞・全国賞・優秀賞・PTA推薦賞

《応募方法》作品は、担任の先生に提出し、各学校において学級あたり2割程度を選出し、応募一覧表とともに締切日までに県P事務局までご送付ください。

単Pの活動報告も大募集

教えて!

「私たち、こんな取り組みをしています」

単位PTAのユニークな取り組みや楽しい活動を教えてください。県P新聞や県Pホームページ等でご紹介します。県P新聞取材班が取材に向う場合もあります。

《応募方法》福岡県PTA連合会事務局
TEL092-643-7766まで
お問い合わせください

県P新聞令和4年度3月号(303号)で特集しました!



【OB会会長交代のお知らせ】

福岡県PTA連合会OB会の会長が浅井孝さんから緒方友信さんに交代しました。

県P委員のひとりごと

単Pの会長を務め早3年、今年度は柳川市P連の会長を立候補でさせていただいてます。「物好きな人だな」「役好きな人だな」そう周りからは思われているかもしれませんが、自分は今全くそう思っていない。我々が衣食住何不自由なく平和な世の中に暮らしているのは先人たちが築き上げてきた恩恵にあずかっているだけなんです。PTAをめぐると、関わりたくない、今後の日本を背負う子どもたちのために現代の大人が努力しなければ今後の日本はどうなるだろうか?そう不安に感じる私のひとりごと。

(総務委員会 松藤雄記)